



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手工芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル
 歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれている。



1 近況報告

今月は活動の集大成として、竹の展示会を開催しました。この展示会の開催にあたっては、一緒に作成したティモール人の他にも同じ配属先の協力隊にも協力していただき盛大に開催することができました。約1ヶ月間の開催です。



オープニングセレモニーの様子

2 竹の展示会

展示会では、東ティモールに自生する竹（持続可能）で、これまで作られていなかった日本的なカゴやカバンのほか、指輪やピアス、スマートフォン用のスピーカーなどを展示し、竹の魅力を伝えるとともに、生産する現地の人々の収入に繋がっていくこと目的に開催しました。

(1) 展示会の準備

開催までの期間が短い中、会場のレイアウトや竹編みのマニュアルの作成、オープニングセレモニー時に使う器を竹で作成するなど、ティモール人の他、協力隊に手伝っていただき、展示会を開催することができました。



開催前にバナーの展示

(2) オープニングセレモニー

夕方午後6時から開催されたオープニングセレモニーでは、配属先、協力隊のほか、東ティモールのJICA所長、日本大使夫妻、ユーロ大使、ジョゼ・ラモス元大統領など多くの方が来ていただきました。これも配属先と活動していたNGOグループとの共同で開催できたことが大きかったです。



大使夫妻と



挨拶



テープカット



軽食は竹の器で

(3) 展示品

展示品はティモール人と一緒に作成したものです。会場がポルトガル人が管理する財団であったため、ポルトガル人も多かったです。日本人は竹のスピーカー、ピアスなどの小物、ポルトガル人はランプシェード、タペストリーなどと国によって関心がある作品が違って面白かったです。また、会場が立派だったので、竹の作品が映えるか心配でしたが、同じ協力隊の学芸員の方の協力もあり、綺麗に見せることができました。



会場オープンの様子



一緒に作成したRioと



展示会場

3 残り1ヶ月

東ティモールでの生活も残り1ヶ月となりました。この展示会が集大成と考えていたので、自分の協力隊としての活動もほとんど終わりです。無事開催できてよかったです。残りの期間は最終報告会で締めくくりとなりそうです。《第23号終わり》